



令和元年度
福)五和会
かわね保育園

9月号

<保育参加、ありがとうございました！>

6月より園児一人につき1回保育に参加して頂きました。今年は、梅雨で雨の日が多く、プール遊びができないと残念がる方もいらっしゃいました。子ども達の生活に密着？！することで見えてきたことや保育士の思い等を知る機会にもなり、有意義な時間だったと思います。子ども同士や担任との関わり、生活ぶりも見ただけかと思えます。皆様からのアンケートの一部をご紹介します。

(0・1・2歳児)

- ・小さくても園生活の流れが分かって動くことが出来ていて驚いた。先生方が丁寧な言葉がけをしているからかな。
- ・普段の遊びの様子を見ることが出来て嬉しかった。
- ・家ではやらなかったり、食べなかったりするのに、園では進んでやっていることに驚いた。
- ・我が子だけでなく、同年齢の子ども達の様子を見ることが出来、刺激になった。
- ・幼児と同じく、全体的に声を掛けて進める保育ではなく、気づくと揃っておやつを食べていたり、無理に連れて来たりしないのも、子どもにとっても気持ちの安定につながると思う。

(3・4・5歳児)

- ・新入園児で、慣れるまで時間も掛かり、どんな様子で過ごしているのか不安だったが、友達と遊ぶ姿や声を掛けてくれる子もいて安心した。
- ・面談で、子どもの気になっていたことを聞くことが出来て良かった。
- ・今、子ども達が気に入って取り組んでいる玩具・絵本、自分の子が得意又苦手な事を見ることが出来良かった。
- ・誕生会で子ども同士の質問のやり取りが印象的。みんなの前で話すのは、今後成長していく上で非常に重要なので続けてほしい。
- ・行事食は、見た目も楽しく考えてあって良かった。ボリューム有り、野菜たっぷり栄養満点、家でも作ってみたいので、レシピがほしい。

<8月22日*5歳児*ぶどう狩り*楽しかったー！>

今年も、抜里の小玉充造様のご厚意により、ぶどう狩りをさせて頂きました。たわわに実ったぶどうを前に、「今から自分で、宝物を見つけて来てね！」の言葉に、目を輝かせて探しに行きました。「色の黒いのが、甘いよ！」の声に、またまた目をキラキラさせて、自分だけの宝物を探しました。一人ひとりが取り取ってもらい、お土産



に頂きました。緑色のシャインマスカットは、給食後みんなで食べました。子ども達は、「甘くて、おいしー！！」の連発♡ありがとうございました！

地元の方からのお誘いは、子ども達にとって大切な体験の一つです。温かい思いに触れることで地域を知り、そこでの色々な仕事や活動があることを理解するチャンスと捉えています。これからも、地元の方々との触れ合いを大切にしていきたいと思えます。

<8月30日*防災訓練・引き渡し訓練>

川根小学校と連動して、今年も引き渡し訓練を行います。地震、火災、水害は、年間を通して色々な地域で起こっています。訓練を重ねることで、気づきもあります。7月のプール時の地震訓練も、震度の大きさによってどう避難するか等、課題も見つかりました。子どもの安全を最優先に考えていきたいと思えます。



< 最後まで頑張った運動会 ♥ あいごとございました! 9月21日 >

“元気”“勇気”そして“チャレンジ”のテーマのもと、子ども達の元気な声が響き渡りました。今年の夏は、雨が多かったり、暑すぎたりで思うように全体練習が出来ませんでした。4月からの保育の積み重ねを競技に取り込んでいるので、一つひとつの技や演技などは個々に挑戦し、レベルアップしたところを披露できたようです。子ども達が思い切り挑戦できたのも、役員の方々のスムーズな準備・片付けなどの対応と保護者や地域の皆様のご声援のおかげと感謝しております。5歳児と1年生の玉入れを見て、4歳児が「今度、僕らがやるだよね!」と今から楽しみに



ヒミツの作戦会議!!

している子もいました。

週明け、4歳児だけで5歳児のリレーに挑戦したり、1歳児も中鉄棒に手を伸ばしてぶら下がったりする姿もありました。一つの行事を通して、幼児も乳児も関係なく「やりたい気持ち」「やってみよう」という意欲が育ち、行動へと繋がっています。運動だけでなく、心も大きく成長した子ども達です。

挑戦は、これからも続いていきます。応援、宜しくお願いします!

< 講演会「子どものしなやかな心を育てために ~折れない心(レジリエンス)の力~」9月7日 >

民間保育協会主催のすくすく応援会が、開催されました。とても良いお話しでしたのでご紹介します。

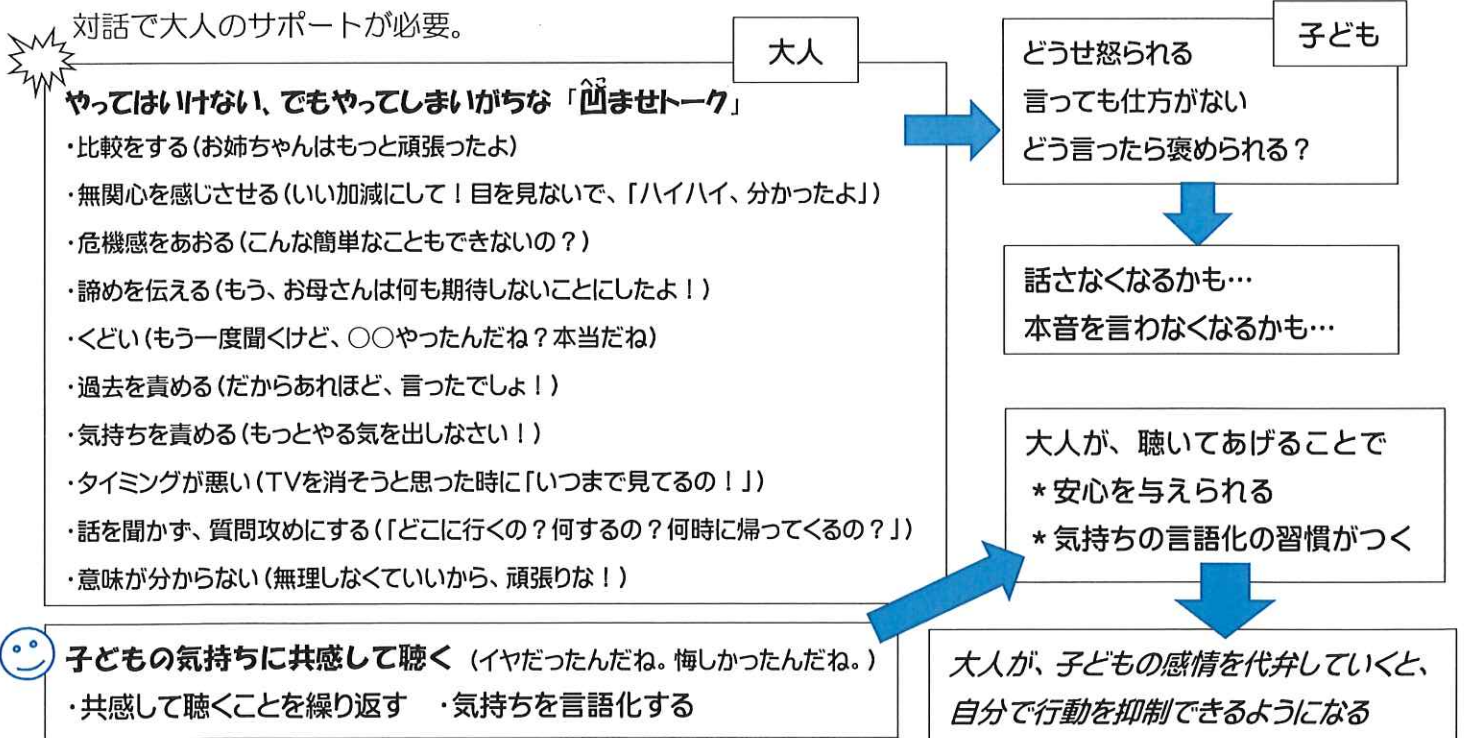
これから生きる子ども達に、**レジリエンス**(失敗しても前を向き進む・乗り越える)の力をつけてあげよう!

具体的には・・・感情を感じ取れる力・考える力・行動する力を使えるようになること。

それには、出来事に対して「何があったの?」(事実)「どう思ったの?」(感情)「どうしたかった?」

(考え)と問いかける。子どもは、身体の小さな大人ではなく、脳がまだ発達途上にある存在。

対話で大人のサポートが必要。



❖ 子どもと関わる時、どんな言葉をかけるのがポイントですね。

【公認心理士 谷澤久美子氏】